

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）		入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	
武庫川女子大学大学院食創造科学専攻博士後期課程では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って7単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次のような能力・資質を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対し、課程修了を認定し、博士(食創造科学)の学位を授与します。				武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科食創造科学専攻博士後期課程では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。 「食創造科学分野において自らの力で研究課題を発見し解決する能力を身につけた人材の養成をもって社会に貢献する」ことを方針とします。 本専攻では、修士課程で得られた豊かな学識、高度な専門的研究能力を基礎として、食と健康に関して、指導教授による研究課題の決定、研究計画の作成への指導助言を行い、博士論文の作成を指導します。また、標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度や昼夜開講形態を採るなど、修学上の多様なニーズにも配慮します。		武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科食創造科学専攻博士後期課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWACOMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシーを理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシーに則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有し、研究者として自立して研究活動を行う意向を持つ人の入学を受け入れます。	
武庫川女子大学人材育成方針 「MUKOGAWA COMPASS」の3要素 （知識・姿勢・行動）および8項目				MUKOGAWA COMPASSに対応する ディプロマ・ポリシーの項目		武庫川女子大学人材育成方針 「MUKOGAWA COMPASS」の3要素	
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	研究者として必要となる基本的な倫理観や専門知識を身につけている。	知識	社会を理解し、食創造科学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。	
	2	“生きること”につながる専門性	2	研究者として必要な高度な専門的知識を身につけ、収集したデータを正しく理解する力を身につけている。		修士課程で培った専門性をさらに高めるため、最新の知識と技術に関する情報収集能力を有している。	
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	他研究機関(者)と協調し、積極的に自らの研究課題に取り組める 社会性を身につけている。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。	
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	研究能力を持つ栄養士、食品研究者として社会に貢献できる能力を身につけ、指導的役割を果たす自立した教育研究者を志向する態度を身につけている。		高度な問題解決能力と実践的能力を身につけ、食産業界で指導的役割を果たす「教育研究者」として貢献しようとする意欲を有している。	
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	自ら課題を発見し、解決できる研究能力を身につけている。			
行動	6	論理的に考え伝える力	6	研究者として必要な高度かつ専門的な情報を自ら収集し、得られた情報や成果を思考、表現する能力を身につけている。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。	
	7	新たな価値を創造する力	7	研究者として新たな価値を創造するための高度な研究遂行能力を身につけている。			
	8	多様な人々と協働する力	8	社会における指導者として必要なコミュニケーション能力とプロジェクト推進力を身につけている。		豊かな発想と高いコミュニケーション能力を活かして、新しい食を創造し、食産業界に貢献しようという意志を有している。	